

事務事業実績測定調書

事務事業名称		災害時要援護者避難支援事業															
測定年度		2020 (R2) 年度				部		健康福祉部			課		健康福祉総務課				
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標				1.安全で、利便性の高いまち											
		施策目標				1.災害に対する備えができているまち											
		実行計画名				1-1.防災体制の充実											
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性			選択的事業			区分			一般事務事業		
事業期間		2006 (H18) 年度				年度		～								年度まで	
根拠法令等		決裁															
関係補助金名称										サンセット					～		
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		災害が発生したときに、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者、および身体障害、知的障害、精神障害がある方で、ひとり暮らしの方、同居している方も支援が必要な高齢者や障害者の方、同居している方が就労等のために避難支援が難しい方。													
		サブターゲット															
		ターゲットが抱える課題		災害時に自力で避難することが困難である。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		災害時の逃げ遅れ等の2次被害を防ぎ、災害時要配慮者の安全を確保する。															
事業概要		災害が発生した場合、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者や障害者の逃げ遅れの防止を行う。 手上げ方式で要援護者の申請を受け付け。 民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		災害時の逃げ遅れ等を防ぐ体制が構築される。				災害時要援護者が登録をするとともに、民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。				手上げ方式で要援護者の申請を受け付ける。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		指標説明		災害時要援護者登録人数のうち、避難支援者が設定されている割合 【算出式:避難支援者が設定されている人数/全登録者数】				避難支援者設定人数				災害時要援護者制度登録者数					
				単位		%		単位		人		単位		人			
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
				目標 (見込み)		100	100	100	100	420	420	420	420	1,300	1,300	1,300	1,300
				実績		42.44				494				1,164			
達成度		42%				118%				90%							
分析		避難支援者設定人数が増加したことにより全登録者に占める割合は増加した。				地域の協力等により避難支援者として設定する人数が増加した。				死亡や転出、施設への入居により全体の登録者数が減少したことに加え、新規登録者数の増加率が低かった。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.41
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,208	1,232	3,270		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,208	1,232	3,270		
	物件費計		9,454	9,712	9,903	9,903	100%
	歳出計		10,662	10,944	13,173		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			10,662	10,944	9,903	9,903	

5. 総括的分析

総括的分析	災害時要援護者避難支援事業への登録者のうち、全ての人に避難支援者が設定されている状態が理想であるが、地域の実情を踏まえると非常に困難である。避難支援者の設定されている登録者数増加のため、周知方法等を検討する必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	災害対策基本法が平成25年度に改正され、要介護者や重度の障害のある方といった避難行動要支援者に係る名簿の作成が市町村に義務付けられたことを踏まえ、改正に伴う関係部署での今後の対応も見極めながら、整合が図れるよう、庁内の類似事業との調整を行い、事業の見直しを検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		災害医療対策関係事務																	
測定年度		2020 (R2) 年度				部		健康福祉部			課		健康福祉総務課						
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標				1.安全で、利便性の高いまち													
		施策目標				2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち													
		実行計画名				2-1.災害時の応急処置活動の充実													
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性			選択的事業			区分			一般事務事業				
事業期間		2011 (H23) 年度				年度		～						年度まで					
根拠法令等		災害対策基本法、新型インフルエンザ等対策特別措置法																	
関係補助金名称										サンセット				～					
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		災害及び新型インフルエンザ等の発生により被害を受ける恐れのある市民															
		サブターゲット																	
		ターゲットが抱える課題		災害及び新型インフルエンザ等が発生した場合、市民の生命・身体等に被害を被るおそれがある。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		災害発生時には迅速に適切な医療救護活動を、新型インフルエンザ等発生時には蔓延防止措置や罹患時の適切な処置を行い、市民の生命や身体を保護することにより、安全安心な生活を確保する。																	
事業概要		枚方市災害医療対策会議等の開催及び災害医療訓練の実施等、関係機関との相互連携を強化する。新型インフルエンザ等対策については、「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき対策を講じる。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		災害医療体制が充実する。				関係機関との相互連携を強化する。				災害医療対策に関する取り組みを行う。									
指標設定	指標説明		災害医療訓練参加者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合				災害医療訓練の関係機関からの参加者数				災害医療訓練の実施回数								
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
		目標 (見込み)		80		80		80		80		30		30		30		30	
		実績		0								0							
	達成度		0%				0%				0%								
	分析		新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため実績なし。								
	ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
災害医療体制が充実する。				新型インフルエンザ対策に対する職員の理解や情報の共有が図られる。				新型インフルエンザ対策に関する取り組みを実施する。											
指標設定②	指標説明		災害医療訓練参加者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合				全体研修対象者の参加割合				全体研修の実施回数								
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
		目標 (見込み)		80		80		80		80		100		100		100		100	
		実績		0								0							
	達成度		0%				0%				0%								
	分析		新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、研修開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、研修開催に至らなかったため実績なし。								

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.89
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,110	9,781	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,563	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	10,673	9,781	0		
	物件費計		1,275	1,258	688	1,894	36%
	歳出計		11,948	11,039	688		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			11,948	11,039	688	1,894	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練及び研修の開催に至らなかったため指標に対する実績はなし。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、訓練及び研修を実施していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		特別定額給付金給付事業															
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉総務課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4			
総合計画体系		基本目標			1.安全で、利便性の高いまち												
		施策目標			2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち												
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス			特性			非選択的事業			区分			非選択的事務事業			
事業期間		2020 (R2) 年度					年度	～	年度まで								
根拠法令等		新型コロナウイルス感染症緊急経済対策(令和2年4月20日閣議決定)															
関係補助金名称												サンセット				～	
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		基準日となる令和2年4月27日に住民基本台帳に登録されている市民													
		サブターゲット															
		ターゲットが抱える課題		新型コロナウイルスにより、経済的影響を受ける恐れがある。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		特別定額給付金の全世帯への給付															
事業概要		1. 施策の目的 「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」において、「新型インフルエンザ等対策特別措置法の緊急事態宣言の下、生活の維持に必要な場合を除き、外出を自粛し、人と人との接触を最大限削減する必要がある。医療現場をはじめとして全国各地のあるゆる現場で取り組んでおられる方々へ敬意と感謝の気持ちを持ち、人々が連帯して、一致団結し、見えざる敵との闘いという国難を克服しなければならない」と示され、このため、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行う。 2. 事業の実施主体と経費負担 実施主体は市町村。実施に要する経費(給付事業費及び事務費)について、国が補助(10/10)を行う。 3. 給付対象者及び受給権者 (1)給付対象者 給付対象者は、基準日(令和2年4月27日)において、市区町村の住民基本台帳に記載されている者 (2)受給権者 受給権者は、その者の属する世帯の世帯主とする。 4. 給付額 世帯構成員1人につき10万円として算出される額。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)					
							申請者に迅速かつ的確に給付を行う					給付対象世帯に郵送にて申請書を送付。					
指標設定		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)					
		指標説明					給付世帯数					給付対象世帯数					
		指標種類		増加することが良いとされる指標													
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
				目標 (見込み)						181,929	—	—	—	181,929	—	—	—
				実績						181,123				181,929			
		達成度															
分析							令和2年9月15日が申請期限となるため令和3年以降は目標実績なし					令和2年9月15日が申請期限となるため令和3年以降は目標実績なし					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.70
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	5,208		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	624,615		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	—	629,823		
	物件費計		—	—	40,182,363	40,133,274	100%
	歳出計		—	—	40,812,186		
歳入	国庫支出金		—	—	40,182,363	39,996,520	
	府支出金		—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	—	0	0	
	市債		—	—	0	0	
	その他		—	—	0	0	
	歳入計		—	—	40,182,363	39,996,520	
一般財源			—	—	0	136,754	

5. 総括的分析

総括的分析	総世帯数の99.6%、総対象人数の99.7%に給付完了しており、指標の達成度については概ね想定通りであった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	令和2年9月15日が申請期限となり、特別定額給付金事業については終了。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	更生保護サポートセンター運営補助事業															
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課						
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4								
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち													
	施策目標		3.暮らしに身近な安全が確保されたまち													
	実行計画名															
1. 事務事業の概要																
種類	市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業					
事業期間	2013 (H25) 年度				年度	～	年度まで									
根拠法令等	枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金交付要綱															
関係補助金名称	更生保護サポートセンター運営補助金							サンセット	2017 (H29) 年度		～	2019 (R1) 年度				
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット	拠点があることによって充実した活動を行える保護司														
	サブターゲット	罪を犯した人														
	ターゲットが抱える課題	更生のためには本人の意思とともに周囲の協力が不可欠だが、刑期を終えて出所された方を受け止めるための受け皿が少ない。														
	ターゲットが抱える課題	更生させ、再犯を防止するためには、本人との面談等を通じた信頼関係の構築・居場所づくり・就職援助等、多岐にわたる課題があり、保護司がそれらの活動を安心かつ安全に行える拠点が必要。														
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	サポートセンターが、その場所を必要とする方に対して永続的に開かれ、今後もいっそう市の更生保護の推進に寄与すること。															
事業概要	地域における更生保護の活動拠点として、平成25年10月に設置された枚方・交野地区更生保護サポートセンターの運営を行う枚方・交野地区保護司会を支援する。															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム （活動効果）					アウトプット （活動結果）				インプット （活動）						
	保護司活動を安心かつ安全に行うことができる。					更生保護サポートセンターを開設することができる。				更生保護サポートセンター運営補助金を交付する。						
指標設定	アウトカム （活動効果）					アウトプット （活動結果）				インプット （活動）						
	指標説明		センターにおける電話、来所等の対応件数			センターへの来所者数(保護司、事務局・更生保護女性会・市民等の来所の合計)				開所日数						
			単位	件										単位	人	
	指標種類		増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		目標 (見込み)	245	245	245	245	313	313	313	313	245	245	245	245		
		実績	197				148				136.50					
	達成度		80%					47%				56%				
分析		緊急事態宣言期間中はセンターを閉所していたため、想定よりも電話等の件数は減少した。					緊急事態宣言期間中はセンターを閉所していたため、想定よりも来所者数は減少した。				緊急事態宣言期間中はセンターを閉所していたため、想定よりも開所日数は減少した。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.03
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	731	751	239		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	731	751	239		
	物件費計		902	302	291	911	32%
	歳出計		1,633	1,053	530		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,633	1,053	291	911	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言発令期間中は、更生保護サポートセンターを閉所していたため、指標の達成度は想定どおりである。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き更生保護活動を円滑に行うための支援を行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		総合福祉会館維持管理事業																
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉総務課						
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4				
総合計画体系		基本目標			1.安全で、利便性の高いまち													
		施策目標			5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち													
		実行計画名																
1. 事務事業の概要																		
種類		内部管理			特性			内部事務			区分			一般内部管理事務				
事業期間		1998 (H10) 年度					年度	～								年度まで		
根拠法令等		枚方市立総合福祉会館条例及び同施行規則																
関係補助金名称												サンセット				～		
関係附属機関名称																		
事業対象		メインターゲット		福祉活動を行う市民・団体など、総合福祉会館の利用者														
		サブターゲット																
		ターゲットが抱える課題		福祉活動や市民交流の輪を広げる場が必要														
		ターゲットが抱える課題																
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		高齢者・障害者などの福祉サービスが充実する。また、活動の場を提供することにより、福祉活動が促進される。																
事業概要		有料貸室の貸出・福祉図書コーナーの運営(福祉関係図書)福祉情報制作室の運営(点訳やビデオの字幕入力)・ふくし相談の実施・温水プールの運営など。																
2. ロジックモデル及び指標設定																		
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)						
							総合福祉会館が適正に維持管理されている。					必要な保守点検等が行われる。						
指標設定		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)						
							修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額】					保守点検回数						
																単位		
		指標種類																
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
				目標 (見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	97	97	97	97	
				実績						96.56				94				
		達成度																
分析							予定工事及び緊急工事を実施した。					更新・修繕工事のため保守点検を実施できないものを除いて予定どおり実施した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,263	5,320	9,171		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,263	5,320	9,171		
	物件費計		374,805	239,382	248,095	257,429	96%
	歳出計		380,068	244,702	257,266		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		16,338	14,363	6,330	9,023	
	市債		0	10,100	14,500	27,700	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		16,338	24,463	20,830	36,723	
一般財源			363,730	220,239	227,265	220,706	

5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者制度により、会館各室の貸出業務、ふくし相談、温水プールの運営、各種福祉講座を実施(各種水泳教室は新型コロナウイルス感染症予防及び施設改修工事のため中止)した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き適正な会館管理を行い、福祉活動の場を提供していく。

事務事業実績測定調査														
事務事業名称		健康医療都市ひらかた推進事業												
測定年度		2020(R2)年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課			
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標		2.健やかに、生きがいを 持って暮らせるまち										
		施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
		実行計画名		6-2.健康づくりの推進										
1. 事務事業の概要														
種類		市民サービス			特性		選択的事業		区分		一般事務事業			
事業期間		2012(H24)年度			年度	～						年度まで		
根拠法令等		決裁												
関係補助金名称									サンセット			～		
関係附属機関名称														
事業対象		メインターゲット		事業に参加する市民										
		サブターゲット		健康医療都市ひらかたコンソーシアムを構成する市内の医療機関や医療系大学、関係団体										
		ターゲットが抱える課題		自ら健康増進を図る知識や機会を得る効果的なすべが少ない。										
		ターゲットが抱える課題		各団体がそれぞれの事業効果を高める必要がある。										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		健康・医療に関わる各関係機関が密接に連携し、顔の見える関係性を構築することで、様々な連携事業による市民の健康増進や医療体制の強化につなげる。												
事業概要		平成24年8月に設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行う。コンソーシアムにおける連携事業としては、以下の事業を想定している。 ・災害医療対策のための連携事業 ・地域完結型医療実現のための連携事業 ・こころの健康増進のための連携事業 ・健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ・母と子どもの健康支援のための連携事業 ・健康・医療アカデミー創設による連携事業 ・健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ・健康・医療に関する情報発信のための連携事業 【構成団体】14団体 枚方市、枚方市保健所、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、関西医科大学、大阪歯科大学、摂南大学、関西医科大学附属病院、星ヶ丘医療センター、枚方公済病院、大阪精神医療センター、市立ひらかた病院、枚方市病院協会 【連携団体】2団体 枚方市スポーツ協会、枚方寝屋川消防組合												
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民の健康増進が図られる。				連携事業に市民等が参加する。				「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業を実施する。				
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標説明		事務局主催事業における参加者アンケートで、「健康に関する意識が高まった」と回答した人の割合				連携事業への市民等の参加者数				連携事業としての講演会・研修等の実施回数				
				単位	%			単位	人			単位	回	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80	80	80	80	12,000	12,000	12,000	12,000	30	30	30	30
		実績	0			563				6				
達成度		0%				5%				20%				
分析		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催事業として参加型のイベント及びアンケートを実施しておらず、実績なし。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できなかった連携事業が多く、目標を大幅に下回る結果となった。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、連携事業は延期や中止で実施できないものが多かった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.38
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,373	4,329	3,031		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	641	118	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,014	4,447	3,031		
	物件費計		246	232	0	690	—
	歳出計		5,260	4,679	3,031		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			5,260	4,679	0	690	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、連携事業の中止や休止が相次いだため、指標の達成度は低いものとなっている。 その一方で、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する代表者会議及び事務責任者が参加する事務レベル会議を書面やWeb会議にて開催し、また主催事業として、コロナ禍における防災対策をテーマに動画を作成し、枚方市公式YouTubeにて動画の発信を行うなど例年とは形を変えて取り組むことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する14団体を中心に、社会資源の共同利用や情報共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行うとともに、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する代表者会議及び事務責任者が参加する事務レベル会議を開催する。また、構成団体が実施している各連携事業について、課題や取り組み状況を事務局として確認し、対応していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		コミュニティソーシャルワーカー配置事業														
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉総務課				
市長公約との関係		所信表明	○	市政運営方針		R2			R3			R4				
総合計画体系		基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
		施策目標			6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
		実行計画名			6-3.地域福祉の推進											
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業		
事業期間		2006 (H18) 年度				年度		～						年度まで		
根拠法令等		枚方市コミュニティソーシャルワーカー配置事業実施要綱														
関係補助金名称									サンセット				～			
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族、親族等												
		サブターゲット														
		ターゲットが抱える課題		福祉に関するさまざまな相談をしたい。どこに相談すればよいのかわからない。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		複合的な課題を抱えるなど、どこに相談したらよいかわからない人の相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。														
事業概要		コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族・親族等の支援を通じて、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤作りを行い、地域福祉の計画的な推進に資することで、健康福祉のセーフティネットの構築を図る。 コミュニティソーシャルワーカーを配置する「いきいきネット相談支援センター」は、事業を開始した平成18年4月は市内で2か所だったが、現在は6か所となっている。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		対象者の相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。				対象者が福祉に関する相談をする。				「いきいきネット相談支援センター」を設置する。						
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		相談を通じて問題解決につながったと感じている割合【算出式:対応完了件数/当該年度の新規相談件数+昨年度の継続件数】				延べ相談件数				「いきいきネット相談支援センター」設置箇所数						
														単位		%
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
				目標 (見込み)	100	100	100	100	9,670	10,869	12,217	13,732	5	5	5	5
				実績	83.88				8,999				6			
達成度		84%				93%				120%						
分析		対応完了に至っていないケースについては、困難なケースが多い。対応完了に至っていても、継続的な支援により本人にとってよりよい状況に転じている場合もある。				新型コロナウイルス感染症の影響で、窓口来庁者が減少した。また、アウトリーチの機会が減り、地域からの相談が減少した。				令和2年度から、市役所内(健康福祉総合相談窓口)に1か所増設した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.19
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,480	2,514	1,515		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,480	2,514	1,515		
	物件費計		31,260	31,613	41,212	41,212	100%
	歳出計		33,740	34,127	42,727		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	8,213	8,766	
	歳入計		0	0	8,213	8,766	
一般財源			33,740	34,127	32,999	32,446	

5. 総括的分析

総括的分析	設定指標は概ね想定通りである。相談件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で、窓口への来庁者の減少や、出張相談の機会が無くなったことで地域で活動されている方からの相談が減った。設置箇所については、令和2年度から1箇所増設し、全部で6箇所となっている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	引き続き相談業務を継続するとともに、今後は重層的支援体制の整備に関してCSWを活用することを検討していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	生活支援事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名		6-3.地域福祉の推進										
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業		
事業期間	不明			年度	～		年度まで						
根拠法令等	枚方市くらしの資金の貸付けに関する条例及び施行規則												
関係補助金名称								サンセット			～		
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	低所得の一時的な生活困窮世帯等											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	生活が一時的に困窮している											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生活が安定し自立した生活を送ることができる												
事業概要	一時的な生活困窮世帯で、一定要件のもと必要な金額の貸し付けを行う。												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	対象者が安定した生活を送ることができる。				貸付を行った世帯が一時的な困窮から脱する。				生活が一時的に困窮している世帯に貸付を行う。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	くらしの資金 償還率 【算出式: H30年度以降貸付分の返済額/H30年度以降貸付分で返済期日が到来している額】				貸付件数				相談件数			
		単位	%				単位	件			単位	件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	70	71	72	73	10	10	10	10	200	200	200
	実績	73.23				3				41			
達成度	105%				30%				21%				
分析	返済について周知した結果、目標の数値を達成することができた。				社会福祉協議会が実施する緊急小口資金や総合支援資金等の貸付へ繋がる件数が多く、貸付の実績も少なかった。				緊急小口資金や総合支援資金等の相談が多く、本貸付への相談が少なかった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.06
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,783	3,316	479		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,783	3,316	479		
	物件費計		0	0	0	0	—
	歳出計		2,783	3,316	479		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			2,783	3,316	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、くらしの資金貸付よりも申請要件等が簡素な緊急小口資金等の貸付に繋がるケースが多かったため、くらしの資金貸付及び相談は少ない傾向にあったと思う。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、相談内容に応じた貸付等をおこなっていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		骨髄バンクドナー支援事業															
測定年度		2020 (R2) 年度				部		健康福祉部				課		健康福祉総務課			
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標				2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
		施策目標				6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業	
事業期間		2020 (R2) 年度				年度		～						年度まで			
根拠法令等		決裁															
関係補助金名称		骨髄バンクドナー奨励金								サンセット		2020 (R2) 年度		～		2022 (R4) 年度	
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		骨髄バンクドナーになっている、あるいはなる意志のある市民													
		サブターゲット		メインターゲットの市民が従事している事務所													
		ターゲットが抱える課題		骨髄・末梢血幹細胞提供にあたり、平日の日中に複数回に渡って医療機関へ出向くことが必要であるため、負担が大きい。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		事業の実施により、骨髄等の提供者及び骨髄バンクのドナー登録者が増える。															
事業概要		白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者(ドナー)は、提供にあたり、平日の日中に複数回に渡って医療施設に出向くことが必要であるため、ドナー及びドナーが従事している事務所に対し、奨励金を交付することにより、骨髄等移植及びドナー登録の推進を図る。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		奨励金による支援により、骨髄バンクのドナー登録者が増加する。				骨髄・末梢血幹細胞の提供が完了し、他の補助金等の交付を受けていない方による奨励金の申請が増える。				骨髄バンクドナー支援事業に関する周知・啓発を行う。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		指標説明		市内における骨髄バンクのドナー登録者数		ドナー支援事業申請者数		事業に関する各種啓発冊子等の配布冊数									
				単位 人		単位 人		単位 冊									
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
				目標 (見込み)	1,180	1,250	1,325	1,400	5	5	5	5	500	300	300	300	
				実績	1,211				2				700				
達成度		103%				40%				140%							
分析		目標値を達成することができた。				本制度が年度途中(令和2年9月)からの開始であったことから、目標達成には至らなかった。				制度開始初年度であったことから、庁内及び関係各所や献血キャンペーンにおいてチラシを配付するなど、広く周知を行った。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.12
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	1,196		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	324		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	—	1,520		
	物件費計		—	—	361	1,150	31%
	歳出計		—	—	1,881		
歳入	国庫支出金		—	—	0	0	
	府支出金		—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	—	0	0	
	市債		—	—	0	0	
	その他		—	—	361	385	
	歳入計		—	—	361	385	
一般財源			—	—	0	765	

5. 総括的分析

総括的分析	年度途中からの開始であったが、庁内及び関係各所へのチラシの配付等によって制度の周知に努め、目標値を達成することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、本制度の周知を図るとともに、ドナー等に対して補助金を交付することで、骨髄等の提供者及び日本骨髄バンクのドナー登録者の増加を目指す。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	健康・医療・福祉フェスティバル開催事業									
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	健康福祉総務課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業	
事業期間	1989(S64)年度		年度	～				年度まで
根拠法令等	決裁							
関係補助金名称						サンセット		～
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	事業に参加する市民						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	健康、医療、福祉について関心が低い(考える機会が少ない)市民が一定数いる。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの市民が参加することで、健康、医療、福祉に対する意識が高揚し、自ら健康づくりを実践する気運が高まる。							
事業概要	・医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市の共催で「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。 ・フェスティバル開催に向け、5団体より選出された委員による実行委員会を開催し、準備を進める。 ・フェスティバルでは各団体が健康・医療・福祉をテーマに様々な催しを実施する。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
		市民の健康・医療・福祉に対する意識が高まる。				「健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。				「健康・医療・福祉フェスティバル」実行委員会を開催する。								
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
指標設定	指標説明		健康・医療・福祉フェスティバル参加者アンケートで、「意識が高まった」と回答した人の割合				参加者数(延べ人数)				実行委員会の実施回数							
			単位		%				単位		人				単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5					
		目標 (見込み)	80	80	80	80	7,000	7,000	7,000	7,000	4	4	4	4				
		実績	0				0				0							
	達成度		0%				0%				0%							
	分析		新型コロナウイルス感染症拡大により、開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、開催に至らなかったため実績なし。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,407	5,291	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	118	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,407	5,409	0		
	物件費計		968	2,300	28	100	28%
	歳出計		6,375	7,709	28		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			6,375	7,709	28	100	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大により、開催に至らなかったため指標に対しての実績はなし。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	健康・医療・福祉フェスティバルの開催方法を検討しながら、市民の健康・医療・福祉に関する意識が高まるよう取組みをすすめていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	ひらかた安心カプセル配布事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業		
事業期間	2010 (H22) 年度			年度	～					年度まで			
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称							サンセット			～			
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	安心カプセルの配布を希望する市民 (65歳以上の方、障害者手帳を有する方、妊婦、一人暮らしの方、家族で住んでいるが日中は一人になる方)											
	サブターゲット	地域の民生委員・児童委員 (見守り活動を通じて安心カプセルを配布していることから、地域に見守りが必要な人を把握できることや、対象者とのつながり強化に資するため)											
	ターゲットが抱える課題	安心カプセルの配布を希望する市民について、緊急搬送時に救急隊員が駆け付けた際に、自身の病気や緊急連絡先を明確に伝えることができない。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。												
事業概要	高齢者や障害者、一人住まいの市民等からの申請に応じて、ひらかた安心カプセル (救急医療情報キット) を配付する。なお、配付については、民生委員、枚方寝屋川CKD研究会に参加する市内の人工透析を行う病院・診療所及び枚方市医師会の協力医療機関を通じて行う。												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。				安心カプセルの配布を希望する市民に安心カプセルを配布する。				高齢者や障害者、一人住まいの市民等から申請を受け付ける。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明		安心カプセルの配付数 (累計)		安心カプセルの配付数 (当該年度)				配布窓口数 (民生委員の委嘱者数及び配布協力医療機関数)				
			単位	個			単位	個			単位	箇所	
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	9,505	10,065	10,625	11,185	560	560	560	560	586	586	586
	実績	9,838				227				587			
達成度		104%				41%				100%			
分析		令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、目標値を低く設定したため、想定よりも増加している。				新型コロナウイルス感染症の影響から、民生委員による地域住民宅への訪問が控えられた傾向にあったため、想定よりも配付数が減少している。				配付協力医療機関が増加したため、目標値を達成した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	636	641	399		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	636	641	399		
	物件費計		0	418	0	0	—
	歳出計		636	1,059	399		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			636	1,059	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	民生委員による見守り活動の中で、希望者に対して順次配付するとともに、市内の協力医療機関を通じて希望者に配付している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、民生委員が地域住民の自宅訪問を控えたことから、配付数が減少している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、ひらかた安心カプセルの啓発・推進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		公共施設・コンビニへのAED設置事業																	
測定年度		2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	健康福祉総務課							
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4					
総合計画体系		基本目標				2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち													
		施策目標				8.安心して適切な医療が受けられるまち													
		実行計画名				8-1.医療体制の充実													
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分				一般事務事業	
事業期間		2015 (H27) 年度						年度		～								年度まで	
根拠法令等		決裁、協定書																	
関係補助金名称												サンセット				～			
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		突然の心停止に伴い、心肺蘇生 (AEDの使用) を必要とする全ての市民															
		サブターゲット		市内公共施設及び24時間営業のコンビニエンスストア															
		ターゲットが抱える課題		突然の心停止に伴い、心肺蘇生 (AEDの使用) を必要とする場合にAEDが無ければ、救命率が低下する。公共施設は、休日や夜間は閉館しAEDを使用できないため、休日や夜間に発症した場合は、特に救命率が低下する。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		市内公共施設や24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置することで、いつでもAEDを使用できる環境を整備する。																	
事業概要		突然の心停止からの救命率向上について、AEDの有効性が実証されており、市では従来から本市公共施設に設置していた。しかし、夜間や休日はAED設置施設が閉館しているため、平成27年4月から24時間営業の市内コンビニエンスストアに協力を得て、常時AEDを設置できる環境を整備するもの。なお、コンビニエンスストアからの要望に応じて、AED講習会を枚方寝屋川消防組合と連携して行うもの。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		緊急時にAEDを使用できる環境整備。				AEDを適正に管理する。				公共施設へAEDを設置する。									
指標設定	指標説明	健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式: 正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】				健康福祉総務課が設置・所管するAEDの適正管理台数				公共施設へのAED設置台数									
				単位	%			単位	台			単位	台						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
		目標 (見込み)		100	100	100	100	15	15	15	15	15	15	15	15	15			
		実績		100				15				15							
	達成度		100%				100%				100%								
	分析		全てのAEDが正常に作動していた。				すべてのAEDを適正に管理した。				15の施設にAEDを設置した。								
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		緊急時にAEDを使用できる環境整備。				AEDを適正に管理する。				市内24時間営業のコンビニへAEDを設置する。									
指標設定②	指標説明	健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式: 正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】				コンビニ設置AEDの適正管理台数				市内24時間営業のコンビニAED設置台数									
				単位	%			単位	台			単位	台						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
		目標 (見込み)		100	100	100	100	90	90	90	90	90	90	90	90				
		実績		100				96				96							
	達成度		100%				107%				107%								
	分析		全てのAEDが正常に作動していた。				全てのAEDが正常に作動していた。				96台のAEDを設置した。								

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.12
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,306	2,245	957		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,306	2,245	957		
	物件費計		3,461	4,377	2,434	3,016	81%
	歳出計		5,767	6,622	3,391		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			5,767	6,622	2,434	3,016	

5. 総括的分析

総括的分析	設置しているAEDについて適正に管理を行い、常時AEDが使用できる環境を整備出来た。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、常時AEDが使用できる環境整備に取り組む。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		休日・土曜夜間急病診療事業																	
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉総務課							
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4					
総合計画体系		基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち														
		施策目標			8.安心して適切な医療が受けられるまち														
		実行計画名			8-1.医療体制の充実														
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業					
事業期間		1974 (S49) 年度			年度		～									年度まで			
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称												サンセット				～			
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		救急患者															
		サブターゲット		枚方市医師会															
		ターゲットが抱える課題		日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合、一般の診療所等は診療を行っていないため、受診することができない。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合でも、内科診療を受診することができる。																	
事業概要		・診療科目は内科と小児科。 ・診療日時は日曜日、祝日、年末年始の午前10時～12時及び午後1時～5時、土曜日の午後6時～9時。 ・診療業務については、枚方市医師会に全面委託し実施する。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)							
		市民が安心して適切な医療が受けられるまちにつながる。					休日・土曜夜間に病気を発症した場合にも診療を受けることができる。					休日・土曜夜間に、内科及び小児科の診療を行う。							
指標設定		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)							
		指標説明		患者の受け入れ率			受診者数			年間診察日数									
				単位		%							単位		人	単位		日	
		指標種類		増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標					
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
				目標 (見込み)	100	100	100	100	5,500	5,500	5,500	5,500	122	123	122	122			
		実績		100				1,365				122							
達成度		100%					25%					100%							
分析		救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができた。					新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数が大幅に減少した。					日曜、祝日、年末年始や土曜夜間について、休むことなく医療を提供することができた。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,670	1,523	1,834		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,670	1,523	1,834		
	物件費計		26,442	26,716	36,347	40,830	89%
	歳出計		28,112	28,239	38,181		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			28,112	28,239	36,347	40,830	

5. 総括的分析

総括的分析	休日、土曜夜間の初期救急医療体制を確保することで、救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数が大幅に減少したことから、当初想定していた診療収入が見込めず、委託先に対して業務遂行に必要な経費を追加で支出するなど、事業費が大幅に増額した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		休日 歯科急病診療所補助事業																											
測定年度		2020 (R2) 年度				部		健康福祉部			課	健康福祉総務課																	
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4															
総合計画体系		基本目標				2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち																							
		施策目標				8.安心して適切な医療が受けられるまち																							
		実行計画名				8-1.医療体制の充実																							
1. 事務事業の概要																													
種類		市民サービス				特性			選択的事業			区分			一般事務事業														
事業期間		1987 (S62) 年度						年度		～		年度まで																	
根拠法令等		枚方休日 歯科急病診療所運営補助金交付要綱																											
関係補助金名称		枚方休日 歯科急病診療所運営補助金										サンセット				～													
関係附属機関名称																													
事業対象		メインターゲット		救急患者																									
		サブターゲット		枚方市歯科医師会																									
		ターゲットが抱える課題		日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合、一般の歯医者では診療を行っていないため治療が受けられない。																									
		ターゲットが抱える課題																											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。																											
事業概要		本市の休日における歯科急病診療需要に応えるため、歯科医師会が開設している休日 歯科急病診療所を補助する。 ・休日 歯科急病診療所は、歯科医師会の補助事業として、歯科急病患者の応急的治療を目的に、日曜日・祝日・年末年始に保健センター内において開設している。 ・診療時間は午前10時～正午までと午後1時30分～午後5時まで。																											
2. ロジックモデル及び指標設定																													
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)															
		市民が安心して適切な医療が受けられるまちにつながる。						日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。						枚方休日 歯科急病診療所運営補助金の交付により休日 歯科急病診療所が開設される。															
指標設定		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)															
		患者の受け入れ率						受診者数						年間診察日数															
																		単位		%		単位		人		単位		日	
		指標種類		増加することが良いとされる指標						増加することが良いとされる指標						増加することが良いとされる指標													
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
				目標 (見込み)		100		100		100		100		750		750		750		750		72		72		72		73	
				実績		100								715								72							
達成度		100%						95%						100%															
分析		救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができた。						新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定していた患者数よりも減少した。						日曜、祝日、年末年始について、休むことなく医療体制を確保することができた。															

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,193	1,042	1,994		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,193	1,042	1,994		
	物件費計		11,000	11,000	11,579	11,579	100%
	歳出計		12,193	12,042	13,573		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			12,193	12,042	11,579	11,579	

5. 総括的分析

総括的分析	休日の歯科急病医療体制を確保することで、救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができた。また、診療所内で使用している医療機器について、老朽化に伴う機器の更新を行うための補助を行ったため、事業費が増額した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	高度救命救急医療推進協議会負担金交付事業									
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	健康福祉総務課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名		8-1.医療体制の充実							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		非選択的事業		区分		非選択的事務事業	
事業期間	2006 (H18) 年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	北河内北東部地域高度救命救急医療補助金交付要綱									
関係補助金名称						サンセット			～	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		救急患者							
	サブターゲット		関西医科大学附属病院							
	ターゲットが抱える課題		重篤患者が迅速かつ適切な医療の提供を受けることができず、生命の危機に陥る可能性が高まる。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	重篤患者に対して迅速かつ適切な医療を提供することで、患者の生命を守ることができる。									
事業概要	北河内北東部の高度救命救急体制を維持するため、関西医科大学附属病院に対して、枚方市、寝屋川市、交野市の3市による支援を行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						北河内北東部の高度救命救急体制が維持される。				高度救命救急医療推進協議会が関西医科大学附属病院へ補助金を交付する。					
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明						重篤患者の受け入れ人数				補助金交付率				
			単位				単位		人		単位		%		
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						700	700	700	700	100	100	100	100
		実績						922				100			
	達成度						132%				100%				
分析						重篤患者数は想定以上であったが、高度救命救急体制の維持により、想定以上の患者を受け入れることができた。				予定どおりの補助金交付を行った。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.04
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,829	962	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,829	962	0		
	物件費計		10,601	10,601	10,601	10,601	100%
	歳出計		12,430	11,563	10,601		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		3,901	3,901	3,901	3,901	
	歳入計		3,901	3,901	3,901	3,901	
一般財源			8,529	7,662	6,700	6,700	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定どおりであった。今後も引き続き高度救命救急体制の維持に努める。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き高度救命救急体制の維持に努める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		二次救急医療負担金交付事業																
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉総務課						
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4				
総合計画体系		基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち													
		施策目標			8.安心して適切な医療が受けられるまち													
		実行計画名			8-1.医療体制の充実													
1. 事務事業の概要																		
種類		市民サービス			特性			非選択的事業			区分			非選択的事務事業				
事業期間		2000 (H12) 年度						年度	～							年度まで		
根拠法令等		北河内二次救急医療協議会規約																
関係補助金名称												サンセット				～		
関係附属機関名称																		
事業対象		メインターゲット		救急患者														
		サブターゲット		北河内医療圏内の二次救急医療機関(救急告示病院)														
		ターゲットが抱える課題		北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持できないと、救急患者が受診することができない。														
		ターゲットが抱える課題																
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持することで、救急患者が受診することができる。																
事業概要		北河内7市の行政で「北河内二次救急医療協議会」を組織し、北河内医療圏域の二次救急医療に関する事務を共同で行う。 ①病院群輪番制病院運営事業補助 ②小児救急医療支援事業補助 ③北河内小児救急協力医療機関支援事業補助として、該当する医療機関に対して協議会から補助金を支出する。																
2. ロジックモデル及び指標設定																		
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
								北河内医療圏内の二次救急医療体制が確保・維持できる。				二次救急医療負担金を交付する。						
指標設定		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		指標説明						二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における年間開設日数				二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における交付割合						
																単位		
		指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
				目標 (見込み)						365	365	365	366	100	100	100	100	
				実績						365				100				
達成度								100%				100%						
分析								想定どおりであった。				想定どおりであった。						

3. 人員体制（人）

	R2
正職員（再任用）	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,465	2,245	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,465	2,245	0		
	物件費計		27,212	27,356	27,217	27,217	100%
	歳出計		29,677	29,601	27,217		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		16,828	16,924	16,801	16,801	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		16,828	16,924	16,801	16,801	
一般財源			12,849	12,677	10,416	10,416	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定どおりであった。今後も引き続き二次救急医療体制の確保・維持に取り組む。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き二次救急医療体制の確保・維持に取り組む。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		北河内夜間救急センター運営事業																	
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉総務課							
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4					
総合計画体系		基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち														
		施策目標			8.安心して適切な医療が受けられるまち														
		実行計画名			8-1.医療体制の充実														
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス			特性			非選択的事業			区分			非選択的事務事業					
事業期間		1980 (S55) 年度					年度	～								年度まで			
根拠法令等		北河内夜間救急センター設置条例、北河内夜間救急センター設置条例施行規則、北河内夜間救急センター協議会規約																	
関係補助金名称											サンセット					～			
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		救急患者															
		サブターゲット		北河内7市による協議会															
		ターゲットが抱える課題		夜間に病気を発症した場合、一般の診療所等は診療を行っていないため、受診することができない。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		北河内夜間救急センターにおいて、夜間に小児科診療を受けられる。																	
事業概要		・入院の必要がない軽症患者の小児科診療を行うため、北河内夜間救急センターにおいて、一般の診療所等が診療を行っていない夜間に小児科診療(中学校3年生まで)を実施する。 ・北河内7市で協議会を設置し、北河内夜間救急センター運営費を負担する。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)							
							夜間小児科診療が開設される。					北河内夜間救急センター運営負担金を交付する。							
指標設定		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)							
							北河内夜間救急センターの年間開設日数					負担金交付率							
		指標説明																	
		指標種類					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
				目標 (見込み)								365		365		365		366	
				実績								365						100	
達成度							100%					100%							
分析							すべての夜間において、休むことなく医療体制を確保することができた。					北河内夜間救急センターの運営に必要な負担金を交付することができた。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	18,685	16,595	9,570		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	18,685	16,595	9,570		
	物件費計		150,483	146,112	130,373	140,817	93%
	歳出計		169,168	162,707	139,943		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	533	550	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		92,693	87,230	31,134	41,561	
	歳入計		92,693	87,230	31,667	42,111	
一般財源			76,475	75,477	98,706	98,706	

5. 総括的分析

総括的分析	北河内7市が連携して負担金を交付することで、休むことなく夜間の小児救急医療体制を確保し、北河内夜間救急センターを運営することができた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数が大幅に減少したことから、当初想定していた診療収入が見込めず、北河内7市に対して業務遂行に必要な経費にかかる負担金を追加で支出してもらうなど、運営費にかかる負担金が大幅に増額した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も北河内7市や医師会など関係機関が連携し、北河内夜間救急センターの適正な運営を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														枚方市病院事業会計に対する負担金・補助金交付事業															
測定年度				2020 (R2) 年度								部		健康福祉部				課		健康福祉総務課									
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針		R2				R3				R4											
総合計画体系				基本目標				2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち																					
				施策目標				8.安心して適切な医療が受けられるまち																					
				実行計画名																									
1. 事務事業の概要																													
種類				内部管理				特性				庶務的事務				区分				庶務的内部管理事務									
事業期間				不明				年度		～												年度まで							
根拠法令等				地方公営企業法																									
関係補助金名称														サンセット						～									
関係附属機関名称																													
事業対象				メインターゲット		市立ひらかた病院																							
				サブターゲット		市立ひらかた病院を利用する市民																							
				ターゲットが抱える課題		市立ひらかた病院の安定的・継続的な経営																							
				ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)				市立ひらかた病院の経営健全化を促進し経営基盤を強化することで、市民が安心して適切な医療が受けられる。																									
事業概要				・市立ひらかた病院の研究研修費や企業償還金、建設改良費などに要する経費について、地方公営企業法に基づき、一般会計から繰出しを行う。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																													
ロジックモデル				アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)								インプット (活動)													
指標設定				アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)								インプット (活動)													
				指標説明																									
																												単位	
				指標種類																									
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
						目標 (見込み)																							
						実績																							
達成度																													
分析																													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	401	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	398	401	0		
	物件費計		1,604,463	1,561,497	1,557,263	1,557,263	100%
	歳出計		1,604,861	1,561,898	1,557,263		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,604,861	1,561,898	1,557,263	1,557,263	

5. 総括的分析

総括的分析	年2回の負担金に加え、新型コロナウイルス感染症に関連して補助金の繰出しを行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、必要な経費について一般会計より繰出しを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		医療通訳士登録派遣事業																	
測定年度		2020 (R2) 年度				部		健康福祉部				課		健康福祉総務課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標				2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち													
		施策目標				8.安心して適切な医療が受けられるまち													
		実行計画名				8-1.医療体制の充実													
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業			
事業期間		2013 (H25) 年度				年度		～						年度まで					
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称										サンセット				～					
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		日本語を話せない外国人住民等															
		サブターゲット		日本語を話せない外国人住民等を診察する医療機関															
		ターゲットが抱える課題		日本語が話せないことにより、適切な医療を受けられない。 医療機関利用時におけるコミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスク															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		日本語を話せない外国人住民等が安心して市内の医療機関を利用し、適切に医療を受けることができる。 コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減した医療を提供できる。																	
事業概要		日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減できるよう医療通訳士の養成と、医療機関への派遣を行う。 【医療通訳士登録派遣(平成31年3月31日現在)】 派遣開始時期:平成27年6月 対象言語:英語、中国語、韓国・朝鮮語の3カ国語 派遣対象機関:市内53の医療機関及び保健センター 派遣料金:無料 ※「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業として実施。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		日本語を話せない外国人住民等が安心して市内の医療機関を利用できる。				医療通訳士を医療機関へ派遣する。				医療通訳士の養成を行う。									
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		指標説明		通訳士派遣依頼件数のうち派遣できた割合				派遣件数				活動人数							
				単位		%		単位		件		単位		人					
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
				目標 (見込み)		95		95		95		95		500		500		500	
		実績		100								41							
達成度		105%				8%				93%									
分析		全ての派遣依頼に対応することができた。				新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月から10月まで派遣を休止したため、目標を大幅に下回る結果となった。				通訳士1名が転居により活動を休止されたため、目標を下回る結果となった。									

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.26
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,327	5,371	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,327	5,371	0		
	物件費計		4,562	5,786	1,870	3,628	52%
	歳出計		9,889	11,157	1,870		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			9,889	11,157	1,870	3,628	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月から10月まで派遣を休止していたこと、また、派遣再開後においても緊急事態宣言の発令や派遣先医療機関でのクラスター発生等の理由により、一定期間、派遣(受付)を休止していたこと等により、派遣件数が大幅に目標を下回る結果となった。 なお、派遣依頼のあった全ての患者に対して、通訳士を派遣することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大前は、医療通訳士の利用件数が想定以上に伸び、これ以上利用件数が増えると、病院へ医療通訳士を派遣する際の調整が困難となる状況であった。事業の効率化及び派遣調整の負担軽減を図るため、医療通訳士の個別派遣(現行)と、特に派遣件数が多い病院(1病院)の院内常駐(新規)との併用を令和2年1月から試行実施し、令和2年4月から本格実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本格実施に至っていない状況である。今後の感染状況や派遣依頼件数を注視し、感染防止対策を講じたうえで派遣を行う必要がある。 ・令和元年度に実施した第4回医療通訳士養成講座について、同講座修了後の病院実習が新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できていないことから、今後、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら病院実習を行う。 ・医療通訳士の増員及び対象言語の拡大に引き続き努めていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	福祉サービス利用援助事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業			
事業期間	1999 (H11) 年度				年度	～	年度まで							
根拠法令等	枚方市福祉サービス利用援助事業補助金交付要項													
関係補助金名称	枚方市福祉サービス利用援助事業補助金							サンセット	2017 (H29) 年度		～	2019 (R1) 年度		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なため、支援を必要とする人												
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題	判断能力が不十分なため、安定した生活を送ることが困難												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域で安定した生活を送ることができ、権利が擁護される													
事業概要	平成12年6月の社会福祉法改正により第二種社会福祉事業として位置づけられる。認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な人の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うもので、実施主体である社会福祉協議会を支援している。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	対象者の在宅生活の安定と自立生活が図られる。				対象者に対して経済生活支援サービス(財産保全、金銭管理)が行われる。				枚方市福祉サービス利用援助事業補助金を交付する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明	利用者への生活支援員による訪問件数と手続き代行件数の合計				年度末時点の利用者数				年間相談件数				
			単位	件			単位	人			単位	件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	8,058	8,058	8,058	8,058	130	130	130	130	120	120	120	120
		実績	7,638				133				64			
達成度	95%				102%				53%					
分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う施設入所者への訪問制限により、一部金銭授受を振込対応にしたため訪問件数が減少した。				解約者数が例年より少ない状況であったため、利用者数の増加につながった。				年間相談件数のうち、初回相談の件数が例年より少ない状況であった。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.04
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	731	751	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	731	751	0		
	物件費計		12,701	12,483	12,993	14,406	90%
歳出計		13,432	13,234	12,993			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			13,432	13,234	12,993	14,406	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は、訪問活動において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を一部受けたものの、状況に応じた適切なサービス提供を行った。また、判断能力の低下が進んだ利用者に対して成年後見制度への移行を進めるなど、運用改善にも努めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、判断能力が十分でない人の権利を擁護し、自立した地域生活を送れるようサービスを提供する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	成年後見制度活用推進事業									
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	健康福祉総務課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業			区分		一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	老人福祉法、決裁									
関係補助金名称							サンセット		～	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		成年後見制度を利用する人							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		認知症や知的障害、精神障害などによって判断能力が不十分となり、契約等の締結や財産の管理ができない。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	成年後見に係る体制を整備することで、誰もが適切な支援を受け、地域で安心して生活することができる。									
事業概要	認知症、知的障害その他の精神上的の障害などがあることで、財産の管理や生活上の手続き等に支障がある方たちを、社会全体で支え合う重要な手段である成年後見制度の後見人について、専門職や社会福祉協議会以外で、本人と親族関係のない後見人の新たな担い手として、「一般市民」という立場で後見活動を行う「市民後見人」の養成及び育成を行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
	市民後見人バンク登録者が市民後見人として後見活動を行う。				市民後見人養成研修の修了生が、市民後見人バンクに登録する。				市民後見人養成研修を開催する。											
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
	指標説明 市民後見人の新規受任件数 ※令和3年度以降は、成年後見制度の利用促進における市町村計画策定にて統合予定。				アウトプット (活動結果) 市民後見人養成研修受講者のうち、バンク登録人数 ※令和3年度以降は、成年後見制度の利用促進における市町村計画策定にて統合予定。				インプット (活動) 市民後見人養成研修の参加人数 ※令和3年度以降は、成年後見制度の利用促進における市町村計画策定にて統合予定。											
	単位		人		単位		人		単位		人									
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標											
	指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
			目標 (見込み)		1		2		2		2		4		4		4		4	
			実績		0								3							
	達成度		0%				75%				60%									
	分析		受任調整を行ったが、手続きに時間を要するため、R2年度中には受任に至らなかった。(その後、R3年に入り受任。)				想定よりも研修受講者自体が少なかったが、受講者は全員バンク登録することができた。				想定よりも研修受講者が少なかった。									

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.86
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	401	6,859		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	209	606		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	610	7,465		
	物件費計		—	1,821	5,122	6,732	76%
歳出計		—	2,431	12,587			
歳入	国庫支出金		—	0	0	0	
	府支出金		—	0	1,231	1,275	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	0	0	0	
	市債		—	0	0	0	
	その他		—	0	0	0	
	歳入計		—	0	1,231	1,275	
一般財源			—	2,431	3,891	5,457	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定通りであったが、研修参加者が想定よりも少なかった。引き続き、市民後見人養成研修についての広報(年1回)行うなど、受講者募集を行っていくとともに、受任案件が発生した場合には、スムーズに対応できるように、引き続き体制を整えておく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民後見人の養成を行い、成年後見制度に係る体制を整えておく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	ハンセン病問題解決に係る啓発事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業			
事業期間	2009 (H21) 年度			年度	～		年度まで							
根拠法令等	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律													
関係補助金名称							サンセット			～				
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		市民											
	サブターゲット		本市職員											
	ターゲットが抱える課題		ハンセン病に対する誤解や偏見などが残っており、正しい知識を持ち合わせていない市民への啓発											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民や本市職員がハンセン病問題について深く理解し、偏見と差別のない社会が実現することで、ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようになる。													
事業概要	ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるような社会の構築のため、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。 ハンセン病回復者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、市民等を対象とした講演会及び映画会の開催、ちらし・リーフレット等の配布により、ハンセン病問題に関する啓発を行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市民等の人権意識の向上が図られる。				イベント等に市民等が参加する。				講演会及び映画会などの啓発事業を実施する。					
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		イベント等への参加を通して人権意識の向上につながった人の割合 【算出式:啓発事業来場者アンケートで、「人権意識が向上した」と回答した人の数／回収数】				イベント等の参加者数				啓発事業の実施回数				
				単位	%			単位	人			単位	回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80	80	80	80	200	200	200	200	1	1	1	1
		実績	67.74				224				1			
	達成度		85%				112%				100%			
分析		DVD上映等、映像で伝えることができずパネル展示のみでは情報量が少なかったため人権意識向上につながりにくかったものと思われる。				パネル展示のみの開催であったが、実施エリアを変え中央図書館で実施した結果目標を達成することができた。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、DVD上映は開催中止となったが、パネル展示のみ開催することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,226	2,245	1,834		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	98	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,324	2,245	1,834		
	物件費計		33	6	0	600	—
	歳出計		2,357	2,251	1,834		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			2,357	2,251	0	600	

5. 総括的分析

総括的分析	市民、職員を対象に、ハンセン病問題をテーマとしたパネル展示及びDVD上映の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、DVD上映については開催中止となった。パネル展示のみ開催することができたが、アウトカムの目標を達成できなかったことから、展示するパネルについては情報量を増やすなど、内容について検討する必要がある。 啓発を目的に作成した市民向けリーフレットをパネル展示の参加者に配布するとともに、関係課の窓口に設置し市民に配布した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、啓発を行い、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	遺家族援護事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		13.平和の大切さを後世に伝えるまち										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス			特性		非選択的事業			区分		非選択的事務事業		
事業期間	不明			年度	～	年度まで							
根拠法令等	①戦没者及び戦傷病者の妻に対する特別給付金支給法 ②戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法 等												
関係補助金名称								サンセット		～			
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求をしたいという意向を持つ市民											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	先の大戦で公務等のために国に殉じた元軍人、軍属および準軍属に対して、弔慰の意を表すことを目的とした国からの弔慰金を受け取りたい。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市内すべての弔慰金受給権者が申請を行い、弔慰金を受け取る。												
事業概要	特別弔慰金、特別給付金等の請求受理・送付業務・戦没者慰霊事業等の連絡業務・その他、援護関係PR業務												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
					弔慰金受給権者が弔慰金を受け取る。				弔慰金受給権者からの申請を受け付ける。				
指標設定	アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
	指標説明				国債交付件数				特別弔慰金・特別給付金の申請件数				
	単位				単位				単位				
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 （見込み）				55	504	872	431	1,091	257	554	2
		実績				41				1,068			
達成度				75%				98%					
分析				都道府県における裁定に遅れが生じているため、国債の交付件数が想定よりも少なくなった。				概ね見込んでいた件数の申請があった。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.52
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.09
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,156	7,215	4,147		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	720	0	1,972		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,876	7,215	6,119		
	物件費計		186	53	58	180	32%
	歳出計		8,062	7,268	6,177		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		70	56	58	87	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		70	56	58	87	
一般財源			7,992	7,212	0	93	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであった。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も円滑な申請受付及び国債交付に努める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	ちびっこ広場管理事業									
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	健康福祉総務課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち							
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	不明			年度	～					年度まで
根拠法令等	枚方市ちびっこ広場設置及び管理要綱									
関係補助金名称							サンセット		～	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		ちびっこ広場と小規模公園を利用する幼児・児童や地域住民							
	サブターゲット		ちびっこ広場の土地所有者(市との賃貸借契約により、固定資産税が免除されているため) 集会所付き小規模公園を利用する自治会(小規模公園内に行政財産の目的外使用として自治会館を設置しているため)							
	ターゲットが抱える課題		広場を利用しており、広場に対する要望があるが、どこに相談していいかわからない。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	底地管理している民地のちびっこ広場と集会所付き小規模公園を適正に管理し、幼児・児童の安全で楽しい遊び場の提供と、地域住民交流の支援を図る。									
事業概要	「ちびっこ広場(民地のみ)」と「集会所付小規模公園」について、地元住民や自治会等との調整を図りながら、要望等に基づく固定資産税非課税手続き、行政財産の目的外使用許可、安全確保のためのフェンスの改修等を行うもの。 なお、遊具等の維持管理については公園所管部署が行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		ちびっこ広場及び集会所付き小規模公園の管理が適正に行われる。				申請に対して許可を行う。				民地の土地所有者と使用賃貸借契約を結んでいるちびっこ広場の契約継続および固定資産税非課税措置のための申請と、集会所付き小規模公園の行政財産目的外使用許可申請を受け付ける。				
指標設定	指標説明		管理に対する意見や要望の受付件数				固定資産税非課税対象数と行政財産目的外使用許可件数の合計				ちびっこ広場の固定資産税非課税措置のための申請数と、集会所付き小規模公園の行政財産目的外使用許可申請数の合計			
			単位		件		単位		件		単位		件	
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	0	0	0	0	22	22	22	22	22	22	22	22
		実績	0				22				22			
	達成度						100%				100%			
	分析		要望や意見は特になく、適切に管理ができていて安全確保ができています。				管理している22ヵ所について適切な申請であったため許可をした。				管理している22ヵ所からの申請があり、今後も地域住民にとって必要な場所であり地域住民や自治会等との調整を図る。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.21
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	1,675		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,590	1,603	1,675		
	物件費計		0	272	0	0	—
	歳出計		1,590	1,875	1,675		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,590	1,875	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	ちびっこ広場や集会所付き小規模公園について、意見や要望は0件であり、固定資産税非課税措置のための申請および行政財産目的外使用許可の申請を受け付け適切に管理した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正管理に努める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	福祉オンブズパーソン事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業			
事業期間	2000 (H12) 年度				年度	～	年度まで							
根拠法令等	枚方市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例、枚方市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例施行規則													
関係補助金名称								サンセット			～			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	市の福祉制度について苦情のある市民												
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題	自らが受けている若しくは受けたい福祉制度について不満があるが、中立的な立場で意見を聞いてもらえるところがない。												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	納得して福祉サービスが利用できる環境の構築。													
事業概要	・市が提供する福祉保健サービスについて、第三者機関である福祉オンブズパーソンが公平かつ中立な立場で苦情を調査し、必要な場合は市に対して意見表明を行う。 ・市はその意見などを尊重して苦情に対応する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市民が納得して福祉サービスが利用できる。				市の福祉制度について苦情のある市民が相談を行う。				相談を受ける体制を構築する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明	相談件数のうち勧告・提言・意見表明を行った割合				相談件数				福祉オンブズパーソンの人数				
		単位	%				単位	件			単位	人		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	100	100	100	100	2	2	2	2	2	2	2	2
		実績	0				0				2			
	達成度	0%				100%				100%				
分析	市民からの福祉保健サービスに関する苦情および相談はなかったため、実績なし。				市民からの福祉保健サービスに関する苦情および相談はなかったため、実績なし。				市民が安心して相談できる体制を確保することができた。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.11
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,034	1,042	877		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	60	60	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,094	1,102	877		
	物件費計		0	0	0	52	—
	歳出計		1,094	1,102	877		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,094	1,102	0	52	

5. 総括的分析

総括的分析	市民からの福祉保健サービスに関する苦情および相談は0件で、市民が納得して福祉サービスを利用することができる環境を提供することができた。また、市の福祉制度について苦情がある市民の相談に対応できるよう、引き続き、福祉オンブズパーソンの人員を確保することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	社会福祉審議会(本審)運営事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性		庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務			
事業期間	2014(H26)年度			年度	～					年度まで				
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則													
関係補助金名称							サンセット			～				
関係附属機関名称	社会福祉審議会(本審)													
事業対象	メインターゲット		審議会の開催により、社会福祉が推進され、福祉が向上する市民											
	サブターゲット		【審議会委員への報酬支払い事務】【審議会員への源泉徴収票作成事務】【審議会委員の委嘱事務】…課職員											
	ターゲットが抱える課題		円滑に事務を進める必要がある											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑に事務を進められる													
事業概要	・学識経験者、社会福祉や児童福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会」を開催する。・審議会の委員の定数は19人以内で、任期は3年。(委員を増員する場合その他特別の事情がある場合にあっては、3年以内)なお、各施福祉分野について、専門的に調査審議するための専門分科会及び部会を設置。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明													
	単位				単位				単位					
	指標種類													
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)													
実績														
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	98.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,180	3,207	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,549	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	3,316		
		人件費計	4,729	3,207	3,316		
	物件費計		88	137	0	0	—
	歳出計		4,817	3,344	3,316		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			4,817	3,344	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は本審及び各分科会において計画策定に係る調査審議が行われたことから、のべ開催回数が67回となり、例年より開催回数が多かった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も継続して、担当課において、各種調査審議及び事業の進捗管理を適切に行うため、本審及び各分科会を開催する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														地域福祉計画推進事業									
測定年度		2020 (R2) 年度						部		健康福祉部				課		健康福祉総務課							
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2				R3				R4							
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり																	
		施策目標				29.市民との情報の共有化を進めます																	
		実行計画名																					
1. 事務事業の概要																							
種類		内部管理				特性				内部事務				区分				一般内部管理事務					
事業期間		2014 (H26) 年度						年度		～								年度まで					
根拠法令等		枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則																					
関係補助金名称												サンセット						～					
関係附属機関名称																							
事業対象		メインターゲット		計画の推進や、審議会の開催により、市民、事業者など、地域福祉に関係する方にとって、地域福祉が向上することとなる。																			
		サブターゲット		計画の進行管理の一環として行う「地域福祉セミナー」の参加者である、主に地域で福祉活動を行う住民や関係者など																			
		ターゲットが抱える課題		だれもが住みなれた地域で安心して暮らしていける地域共生社会の体制整備が不十分																			
		ターゲットが抱える課題		地域福祉活動に関する情報提供や共有の場がほしい																			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		課題を計画的・総合的に解決していくため地域福祉計画を策定し、計画に基づき施策等を進めていき、地域福祉が推進される住民の間で情報が共有され、地域福祉活動がいつそう盛んになる																					
事業概要		学識経験者、地域福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」を開催する。分科会では主に社会福祉法第107条に基づく市町村地域福祉計画の策定や進行管理等を審議する。																					
2. ロジックモデル及び指標設定																							
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)									
								地域福祉が推進される。						地域福祉計画に基づき施策等を実施する。									
指標設定		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)									
		指標説明						地域福祉計画冊子配布数				審議会開催回数											
				単位												単位		冊		単位		回	
		指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標											
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5								
				目標 (見込み)					400	100	50	50	1	1	1	1							
				実績					300				0										
達成度						75%				0%													
分析						地域福祉セミナー等のイベントの際に配布予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、配布の場が少なかった。				審議会は開催していないが、関係部課長会議を书面会議にて行い、計画の進捗管理を行った。													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.44
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,193	3,207	3,509		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,193	3,207	3,509		
	物件費計		33	3,531	0	0	—
	歳出計		1,226	6,738	3,509		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,226	6,738	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	指標数値については、想定よりも大幅に少なかった。地域福祉セミナー等のイベントの際に計画冊子を配布し、市民に広く周知する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、配布の場が少なかったため、今後、機会を捉えて計画の周知を行っていく。また、審議会の開催はなかったが、関係部課長会議を書面会議にて行い、令和2年度の関係各課の取り組みについて報告を受け、取り組みの推進を確認している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、計画の周知や審議会の開催により、市民の地域福祉向上に努める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		保護司会運営補助事業															
測定年度		2020 (R2) 年度				部		健康福祉部				課		健康福祉総務課			
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり											
		施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業	
事業期間		2009 (H21) 年度				年度		～								年度まで	
根拠法令等		決裁															
関係補助金名称		枚方市保護司会運営事務補助金								サンセット		2017 (H29) 年度		～		2019 (R1) 年度	
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		事務局を置くことによって充実した活動を行える保護司													
		サブターゲット		・罪を犯した人 ・罪を犯した人の更生や、非行の防止を援助することにより地域で安心して暮らせる市民全体													
		ターゲットが抱える課題		保護司の多岐にわたる職務を支援する事務局としての立場が必要。													
		ターゲットが抱える課題		更生援助や非行の防止のためには、保護司だけでなく各更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会等)とも密に連携する必要がある、各構成団体を繋ぐ役割を担う事務局としての立場が必要。													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		事務局が機能することで、関係組織との協力体制がいつそう円滑に行われるなど保護司会活動が推進され、市の更生保護が推進される。															
事業概要		「社会を明るくする運動」の中心的存在でもある保護司会の運営にかかる事務を円滑に遂行できるよう、枚方市社会福祉協議会を支援する。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		保護司会の運営にかかる事務及び社会を明るくする運動の事務が円滑に実施できる。				枚方市社会福祉協議会に事務局が設置される。				枚方市保護司会運営事務補助金を交付する。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		指標説明		保護司会活動数(定例会、校区懇談会の開催回数)				理事会・役員調整会議の開催数				保護司の人数(枚方地区のみ)					
				単位		件		単位		件		単位		人			
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
				目標 (見込み)	12	12	12	12	10	10	10	10	93	93	93	93	
				実績	7				20				87				
達成度		58%				200%				94%							
分析		新型コロナウイルス感染症の影響により、定例会が複数回中止となり、校区懇談会は開催されなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、定例会等の大人数での集会ができなかった代わりに、少数で開催する役員会の開催数が増加した。				前年度と比較して3名減少した。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.06
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.12
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	731	241	479		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	324		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	731	241	803		
	物件費計		8,394	8,464	8,626	8,816	98%
	歳出計		9,125	8,705	9,429		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			9,125	8,705	8,626	8,816	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している活動が実施できず、アウトカム指標が減少した。引き続き、市の更生保護活動が推進されるべく、保護司会の運営に対する補助を行う。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、保護司が更正保護活動を円滑に行うために支援するとともに、枚方市社会福祉協議会が事務を円滑に遂行できるよう補助する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		民生委員・児童委員大会開催事務																	
測定年度		2020 (R2) 年度			部		健康福祉部			課		健康福祉総務課							
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり														
		施策目標			30.市民による活発なまちづくり活動を支援します														
		実行計画名																	
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業					
事業期間		2014 (H26) 年度			年度		～								年度まで				
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称									サンセット					～					
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		本市の民生委員・児童委員、主任児童委員（民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満）															
		サブターゲット		民生委員の資質や意欲が向上することで、市民にとっても地域の福祉が向上する。															
		ターゲットが抱える課題		長期間の活動の中で、活動に対する意欲継続。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）		日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲を高められる。																	
事業概要		枚方市と枚方市民生委員児童委員協議会との共催により「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。第1部の表彰式では厚生労働大臣特別表彰の伝達、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰の伝達及び民生委員・児童委員としての勤続年数が10年、15年、20年、25年勤続者に対する市長表彰を、第2部では民生委員・児童委員の研修を行い、民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）									
		枚方市民生委員・児童委員が日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲が高まる。				枚方市民生委員・児童委員が大会に参加する。				「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。									
指標設定		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）									
		表彰の基準となる任期10年以上の民生委員・児童委員の割合（表彰日時点）				参加人数				開催回数									
		単位				単位				単位									
		%				人				回									
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
				目標 （見込み）		19.80		19.80		19.80		19.80		441		441		441	
実績				19.87								67							
達成度		100%				15%				100%									
分析		長期にわたり活動されている民生委員・児童委員が多く、目標を達成することができた。				新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して実施したため。				定例の回数を想定どおり開催することができた。									

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,511	1,523	2,791		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,511	1,523	2,791		
	物件費計		201	786	203	499	41%
	歳出計		1,712	2,309	2,994		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,712	2,309	203	499	

5. 総括的分析

総括的分析	本来は全民生委員・児童委員が参加し開催するものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。そのためアウトプット指標が大幅に減少した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	民生委員・児童委員活動の強化推進に資するため、引き続き、同大会の開催を通じて民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	民生委員研修事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業			
事業期間	1974 (S49) 年度				年度	～	年度まで							
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称								サンセット		～				
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	本市の民生委員・児童委員、主任児童委員（民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満）												
	サブターゲット	民生委員の資質や意欲が向上することで、市民にとっても地域の福祉が向上する。												
	ターゲットが抱える課題	福祉制度に関する知識や技術などを習得する場が少ない。												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	民生委員としての知識や技術などを習得することで、資質が向上する。													
事業概要	枚方市民生委員児童委員協議会に委託し、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、福祉施設の視察や福祉制度についての勉強会など各種研修を実施する。中核市移行に伴い、大阪府から権限の委譲を受け、民生委員法第18条に基づき、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会が実施する指導訓練に係る研修を実施している。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）					
	民生委員としての知識や技術などを習得し、資質が向上する。				民生委員・児童委員及び主任児童委員が研修に参加する。				民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の機会を設ける。					
指標設定	アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）					
	指標説明	研修参加者における、研修に対する満足度【算出式:研修後、アンケートを実施し、参加者のうち、「満足」「やや満足」と回答した割合】				のべ研修参加人数				民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の実施回数				
		単位	%				単位	人				単位	回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	80	80	80	80	3,000	3,000	3,000	3,000	120	120	120	120
		実績	94.87				1,393				48			
達成度	119%				46%				40%					
分析	民生委員の活動に沿った内容の研修を実施することが、高い満足度につながった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修が中止になったため。				新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修が中止になったため。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.11
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	477	481	877		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	477	481	877		
	物件費計		4,314	4,354	769	4,433	17%
	歳出計		4,791	4,835	1,646		
歳入	国庫支出金		426	0	447	451	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		426	0	447	451	
一般財源			4,365	4,835	322	3,982	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修が中止になったことにより、指標の減少につながった。また、研修の満足度に関する指標については、参加者に対してアンケートを実施していないため、測量不可である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	民生委員活動及び主任児童委員活動に必要とされる事項について、継続して研修を実施し民生委員・児童委員の資質の向上を図る。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	民生委員児童委員協議会事務補助事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業			
事業期間	2003 (H15) 年度				年度	～		年度まで						
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱													
関係補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金							サンセット	2017 (H29) 年度		～	2019 (R1) 年度		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	拠点・事務局があることによって充実した活動を行える民生委員・児童委員												
	サブターゲット	民生委員・児童委員の活動が充実することで、市民全体が地域で安心して暮らせる。												
	ターゲットが抱える課題	民生委員・児童委員の多岐にわたる活動にあたり、事務的な支援が必要。												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局が設置されることで、民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。													
事業概要	民生委員児童委員協議会の事務局事務を行う社会福祉協議会を支援する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。				民生委員児童委員協議会事務局が設置される。				民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。					
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		民生委員・児童委員の延べ活動件数				役員会・校区委員長会 開催回数				民生委員委嘱者数 (3月31日時点)				
		単位	件			単位	回			単位	人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80,000	80,000	80,000	80,000	10	10	10	10	465	465	465	465
		実績	10,850				9				477			
	達成度	14%				90%				103%				
分析	過去の実績と、新型コロナウイルス感染症が及ぼす民生委員の訪問活動への影響も鑑みると、概ね想定どおり。				緊急事態宣言期間中、開催を見送った。				昨年度より、4名増加した。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.21
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	731	1,312	1,675		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	731	1,312	1,675		
	物件費計		33,798	19,538	19,604	19,630	100%
	歳出計		34,529	20,850	21,279		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			34,529	20,850	19,604	19,630	

5. 総括的分析

総括的分析	対面での対応も多い民生委員の活動に対して、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響は大きく、活動件数は減少した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、枚方市民生委員児童委員協議会の事務局を担う枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	民生委員推薦事務									
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	健康福祉総務課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		非選択的事業		区分		非選択的事務事業	
事業期間	不明			年度	～	年度まで				
根拠法令等	民生委員法									
関係補助金名称							サンセット		～	
関係附属機関名称	社会福祉審議会民生委員審査専門分科会									
事業対象	メインターゲット		民生委員になりうる市民(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)							
	サブターゲット		各校区に民生委員が配置されることにより、安心して生活することができる市民 民生委員を推薦する、各校区の校区コミュニティ協議会や自治会							
	ターゲットが抱える課題		民生委員のなり手が不足している。候補者を探すのに苦慮している。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全校区に定数どおりの民生委員・児童委員が配置されている。									
事業概要	枚方市民生委員・児童委員定数条例に規定する定数に沿って、全民生委員・児童委員の任期が満了となる一斉改選(3年に一度)時には年2回、その他の年については欠員補充に伴い年3回、枚方市民生委員推薦会を開催して、民生委員・児童委員の候補者を厚生労働大臣に推薦する。平成26年4月からの中核市移行に伴って大阪府から権限が委譲された事務で、大阪府が一部負担していた民生委員活動費負担金も、中核市移行後は市が全額負担している(地方交付税措置あり)。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						地域より推薦のあった民生委員・児童委員の候補者について適否を審議し、適任であると判断した候補者を厚生労働大臣に推薦する。				改選等の時期に枚方市民生委員推薦会を開催する。					
指標設定			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明						民生委員の欠員の割合(4月1日時点)				枚方市民生委員推薦会開催数				
			単位			単位	%		単位		回				
	指標種類						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						15	15	15	15	3	3	2	3
		実績						12.29				3			
	達成度						118%				100%				
分析						校区コミュニティ協議会による民生委員の推薦活動により、欠員率が減少した。				年3回の欠員補充のため予定通り開催することができた。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.57
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,657	4,089	4,546		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	238	817	606		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	219		
		人件費計	3,895	4,906	5,371		
	物件費計		36,754	39,423	36,086	39,346	92%
	歳出計		40,649	44,329	41,457		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			40,649	44,329	36,086	39,346	

5. 総括的分析

総括的分析	年3回の欠員補充にあたり、各校区コミュニティ協議会へ民生委員・児童委員の推薦を依頼し、会議を開催した。令和2年度はコロナ禍での推薦活動となったが、各校区コミュニティ協議会の活動により、欠員率を減少させることができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	欠員地域については校区コミュニティ協議会に働きかけ、欠員補充を依頼する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		献血推進事業															
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉総務課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4			
総合計画体系		基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり												
		施策目標			30.市民による活発なまちづくり活動を支援します												
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業			
事業期間		不明					年度		～							年度まで	
根拠法令等		枚方市献血推進事業補助金交付要項															
関係補助金名称		枚方市献血推進事業補助金									サンセット		2017 (H29) 年度		～	2019 (R1) 年度	
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		市民全般（血液を必要とする市民や、献血者数が減少していることから、献血経験がない・献血思想がない市民に対しても献血推進活動を行っている）													
		サブターゲット															
		ターゲットが抱える課題		血液を必要としているが、安心して輸血を受けられる体制が整っておらず、血液が不足している。献血についての知識や経験がないことから、献血者数が低下している。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）		事業が継続されることで、年間を通しての継続的な献血量が確保される。															
事業概要		枚方市社会福祉協議会が献血推進協議会を設置し、事業計画に基づく献血事業を毎年展開。京阪枚方市駅、樟葉駅前での街頭キャンペーンをはじめ、校区福祉委員会との連携あるいは高校、大学の学域、事業所、病院、市役所等の職域などの関係機関・団体にも協力を依頼するなど、献血活動を推進。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム （活動効果）					アウトプット （活動結果）					インプット （活動）					
		年間を通しての継続的な献血量が確保される。					献血推進協議会の事業計画に基づく献血事業を実施する。					枚方市献血推進事業補助金を交付する。					
指標設定		アウトカム （活動効果）					アウトプット （活動結果）					インプット （活動）					
		指標説明		採血者数			地域における啓発取り組み回数				献血推進協議会 構成団体数						
				単位		件									単位		回
		指標種類		増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標			
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
				目標 （見込み）		26,000	26,000	26,000	26,000	8	8	8	8	16	16	16	16
				実績		20,427				2				16			
達成度		79%					25%					100%					
分析		新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施が難しく、目標値を下回る結果となった。					新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止または規模を縮小して実施されたため、目標値を下回る結果となった。					令和2年度も16団体の協力を得て献血の推進や市民への周知活動を実施できた。今後も引き続き構成団体として協力を求めている。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	731	241	399		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	731	241	399		
	物件費計		5,610	5,514	5,652	5,758	98%
	歳出計		6,341	5,755	6,051		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			6,341	5,755	5,652	5,758	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施が難しく、指標の達成度は低くなっている。また、啓発活動についても中止となったものが多かった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	駅前での該当キャンペーンなどの啓発活動を行うとともに、各関係機関の協力を得ながら、引き続き献血活動を推進していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	校区福祉活動推進事業									
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	健康福祉総務課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名		計画推進2-1.市民活動の支援							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	1998 (H10) 年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、枚方市校区福祉小地域ネットワーク活動推進事業補助金交付要項									
関係補助金名称	枚方市校区福祉活動推進事業補助金						サンセット	2017 (H29) 年度	～	2019 (R1) 年度
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	地域の高齢者、障害(児)者、子育て中の親子など地域住民全体								
	サブターゲット	主にメインターゲットを支援する立場の事務局および校区福祉委員会等								
	ターゲットが抱える課題	地域福祉の担い手が不足している。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	・支援を必要とする方すべてに支援が行き届いている。 ・地域での活動に年代性別問わず多くの方が参加しており、担い手の養成も進んでいる。									
事業概要	地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小学校区域で行う校区福祉委員会の活動をサポートする社会福祉協議会を支援する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																
		地域が、さまざまな福祉活動を推進する。				地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小学校区域で行う体制が整備される。				枚方市校区福祉活動推進事業補助金を交付する。																
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
			校区福祉活動 延べ参加人数				校区福祉活動推進校区				校区福祉委員会数															
			単位		人				単位		校区				単位		人									
	指標種類		増加することが良いとされる指標								増加することが良いとされる指標								増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		
		目標 (見込み)		79,000		79,000		79,000		79,000		45		45		45		45		45		45		45		
		実績		25,494								44								44						
	達成度		32%								98%								98%							
	分析		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標値を大きく下回る結果となった。								1校区を除く44校区で体制を維持し地域福祉を推進した。								1委員会を除く44委員会について維持し地域福祉を推進した。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	731	241	399		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	731	241	399		
	物件費計		36,805	38,658	38,343	38,688	99%
歳出計		37,536	38,899	38,742			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			37,536	38,899	38,343	38,688	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動が難しく、指標の達成度は低いものとなっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	地域福祉のさらなる推進に向け、引き続き適正に事業を行っていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	福祉活動・福祉団体等補助事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業			
事業期間	不明			年度	～		年度まで							
根拠法令等	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付要項													
関係補助金名称	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金							サンセット	2017 (H29) 年度		～	2019 (R1) 年度		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット	枚方市福祉団体連絡会に加盟する福祉団体												
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題	遺族会や身体障害者の会など、当事者団体としての活動するにあたり、財源が不足している												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	当事者同士の情報交換や交流などを行うことができ福祉活動が推進される													
事業概要	地域福祉活動促進を図るため、福祉団体等を支援する。 ①福祉団体助成金 ②福祉団体連絡会助成 ②福祉活動助成金(やすらぎ音楽祭) ③ひとり暮らし老人会運営助成金													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	当事者同士の情報交換や交流などを行うことができ福祉活動が推進される。				各種福祉団体の円滑な組織運営の支援が図られる。				枚方市福祉活動・福祉団体等補助金を交付する。					
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		障害者週間啓発キャンペーン 午前の部、午後の部参加人数の合計				活動支援している団体数				枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付額				
				単位	人			単位	団体			単位	千円	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	191	191	191	191	11	11	11	11	5,804	5,804	5,804	5,804
		実績	0				11				5,402			
	達成度	0%				100%				107%				
分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実績なし。				活動支援している団体数を引き続き維持し福祉活動を推進することができた。				新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各団体の活動が難しくなったため、中止になった活動について補助金の減額がなされることとなった。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	731	751	160		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	731	751	160		
	物件費計		5,792	5,741	5,402	5,804	93%
歳出計		6,523	6,492	5,562			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			6,523	6,492	5,402	5,804	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動が難しく、指標の達成度は低いものとなっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	各種福祉団体のより円滑な組織運営に向け、今後も客観的に検証しながら事業を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		ひらかたポイント事業																											
測定年度		2020 (R2) 年度						部		健康福祉部			課		健康福祉総務課														
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2				R3				R4													
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり																							
		施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します																							
		実行計画名				計画推進2-1.市民活動の支援																							
1. 事務事業の概要																													
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分				一般事務事業											
事業期間		2018 (H30) 年度						年度		～								年度まで											
根拠法令等		決裁																											
関係補助金名称												サンセット						～											
関係附属機関名称																													
事業対象		メインターゲット		健康・子育て・長寿など市が重点的に進める施策の対象者																									
		サブターゲット		ひらかたポイント利用に係る市内協力店舗																									
		ターゲットが抱える課題		市の事業やまちづくりに対して無関心または一定の関心はあるが、契機がなく積極的な参画に至れていない。																									
		ターゲットが抱える課題																											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		ポイント付与というインセンティブを契機に、ターゲットが市の事業やまちづくりにも興味を持ち、積極的に参画している状況を形成し、ひいてはターゲットの健康増進・長寿や地域経済の活性化に寄与している状態。																											
事業概要		・市が実施する健康・高齢者・アンケート・届出・ボランティア等の分野に関する事業等への参画や、市が指定する検診等を受診した市民に対して、ポイントというインセンティブを付与し、市内の店舗等でそのポイントを利用できる制度を構築する。また、ポイントにあっては、市からの付与以外に協力店舗からのポイントも付与できるシステムとすることで、ポイント制度に広がりを持たせるとともに、地域経済の活性化にも繋がるよう制度構築を行う。 ・現在、非接触型ICカードを使用したシステムで運営。しかし、カード作成やカード読み取り端末のコスト負担が大きく、カード普及や協力店舗の拡大、制度魅力向上のマイナス要因になっている。そこで、委託契約期間が残り2年度ある現時点において委託料の年度別割り振りを変更することで、現在急速に発展したQRコードを用いたシステムへの改修(アプリ化)を行い、事業活性化の基盤を整えるもの(令和2年度)。また、ポイント付与事業を拡大し、市による積極的なポイント付与等によって事業効果や魅力向上を図る(令和3年度)。																											
2. ロジックモデル及び指標設定																													
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)															
		ポイント付与というインセンティブを契機に、ターゲットが市の事業やまちづくりにも興味を持ち、積極的に参画している状況を形成する。ひいてはターゲットの健康増進・長寿や地域経済の活性化に寄与している。						付与事業への参加により、ひらかたポイントカード及びアプリの利用者数が増える。						ひらかたポイントを付与する対象事業の拡充を進める。															
指標設定		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)															
		指標説明		ポイント利用率(累計発行ポイントに対する累計利用ポイントの割合)				ひらかたポイントカード発行枚数(アプリダウンロード件数を含む)				ポイント付与事業数																	
				単位		%										単位		枚		単位		事業							
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標																	
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
				目標 (見込み)		35		50		50		50		150,000		200,000		200,000		200,000		20		25		25		25	
				実績		11.81								110,971								19							
達成度		34%						74%						95%															
分析		令和元年度実績(9.9)から増加しているが、目標には達していない。一定のポイントが貯まらないとポイント利用に至らないので、今後も市による積極的なポイント付与が必要。また保有ポイントの利用を促していく。						令和元年度実績(52,380)から大幅に増加した。「新しい生活様式」に係る高齢者のICT利用に関する調査のポイント付与にあたって、カード発行枚数が増加した。						令和元年度実績(16)から増加した。健康ウォーキングアプリ、禁煙支援事業などを新たに付与事業とした。															

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル②		ポイント付与というインセンティブを契機に、ターゲットが市の事業やまちづくりにも興味を持ち、積極的に参画している状況を形成する。ひいてはターゲットの健康増進・長寿や地域経済の活性化に寄与している。				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数 (広報誌、WEB等での広報活動を除く)				
指標設定②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	ポイント利用率(累計発行ポイントに対する累計利用ポイントの割合)				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数 (広報誌、WEB等での広報活動を除く)				
		単位	%		単位	店舗		単位	店舗					
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	35	50	50	50	300	400	400	400	500	500	500	500
		達成度	34%				107%				196%			
	分析	令和元年度実績(9.9)から増加しているが、目標には達していない。一定のポイントが貯まらな いとポイント利用に至らないので、今後も市による積極的なポイント付与が必要。また保有ポイントの利用を促していく。				ひらかたポイント事務局の北大阪商工会議所と連携し、拡大エリアを決め戦略的に店舗拡大に取り組んだ結果、目標を上回った。				ひらかたポイント事務局の北大阪商工会議所と連携し、拡大エリアを決め戦略的に店舗拡大に取り組んだ結果、目標を大幅に上回った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.28
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	10,813	10,983	10,766		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	95	0	566		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	10,908	10,983	11,332		
	物件費計		45,829	42,270	58,404	59,791	98%
	歳出計		56,737	53,253	69,736		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			56,737	53,253	58,404	59,791	

5. 総括的分析

総括的分析	・「新しい生活様式」に係る高齢者のICT利用に関する調査(アンケート回答者にポイント付与)により、ポイント制度利用者が大幅に増え、積極的なポイント利用に繋がり事業が活性化した。 ・非接触型ICカードを使用したシステムで運営してきたが、カード作成やカード読み取り端末のコスト負担が大きく、カード普及や協力店舗の拡大、制度魅力向上のマイナス要因になっていたため、近年急速に発展したQRコードを用いたシステムへの改修(アプリ化)を行い、更なる事業活性化の基盤を整えた(令和3年4月に新システムへ完全移行)。また、市による積極的なポイント付与等によって事業効果や魅力向上を図るため、健康分野等におけるポイント付与事業の拡大に向けて、令和3年度の予算要求を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	新システムへの円滑な移行を進めるとともに、市民の健康行動の実施や市事業・まちづくりへの積極的な参画に向けて、ポイント付与事業や協力店舗の拡大を図り、本事業の活性化・魅力向上に取り組む。また、令和3年度で委託契約期間が満了を迎えることから、事業の今後の方向性を検討する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		日本赤十字社事務補助事業																														
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉総務課																				
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4																		
総合計画体系		基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり																											
		施策目標			30.市民による活発なまちづくり活動を支援します																											
		実行計画名																														
1. 事務事業の概要																																
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業																		
事業期間		2003 (H15) 年度						年度		～		年度まで																				
根拠法令等		民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱																														
関係補助金名称		民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金										サンセット		2017 (H29) 年度		～	2019 (R1) 年度															
関係附属機関名称																																
事業対象		メインターゲット		拠点・事務局があることによって充実した活動を行える日本赤十字奉仕団																												
		サブターゲット		人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動をはじめ、災害救護、救急法普及や健康生活支援などの各種事業の展開が図られることで、市民全体が地域で安心して暮らせる。																												
		ターゲットが抱える課題		日本赤十字奉仕団の活動にあたり事務的な支援が必要。																												
		ターゲットが抱える課題																														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。																														
事業概要		日本赤十字社法第7条の規定に基づく枚方市地区の赤十字活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。																														
2. ロジックモデル及び指標設定																																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)																				
		奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。					日本赤十字奉仕団の活動にあたり事務的な支援が行われる。					民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。																				
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)																			
			奉仕団による延べ活動件数(地域への啓発活動、街頭募金、炊き出しなど)					部会会議開催回数及び管内研修実施回数の合計					枚方市赤十字奉仕団の連合分団数																			
	単位					件	単位					回	単位					団														
	指標種類		増加することが良いとされる指標										増加することが良いとされる指標										増加することが良いとされる指標									
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5								
		目標 (見込み)		13		13		13		13		14		14		14		14		45		45		45		45						
		実績		0								10								43												
達成度		0%										71%										96%										
分析		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実績なし。										新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標達成には至らなかった。										桜丘北校区及び枚二校区には不在となっている。										

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.03
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	802	239		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	802	239		
	物件費計		—	9,635	9,704	9,704	100%
	歳出計		—	10,437	9,943		
歳入	国庫支出金		—	0	0	0	
	府支出金		—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	0	0	0	
	市債		—	0	0	0	
	その他		—	0	0	0	
	歳入計		—	0	0	0	
一般財源			—	10,437	9,704	9,704	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大のため、活動が難しく、指標の達成度について低いものとなった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		共同募金会事務補助事業																	
測定年度		2020 (R2) 年度				部		健康福祉部			課		健康福祉総務課						
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり													
		施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します													
		実行計画名																	
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性			選択的事業			区分			一般事務事業				
事業期間		2003 (H15) 年度				年度		～								年度まで			
根拠法令等		民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金交付要綱																	
関係補助金名称		民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金								サンセット		2017 (H29) 年度			～		2019 (R1) 年度		
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		拠点・事務局があることによって充実した活動を行える共同募金会															
		サブターゲット		募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民が地域で安心して暮らせる。															
		ターゲットが抱える課題		共同募金会各事業の多岐にわたる職務を支援する事務局が必要															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		共同募金会の活動が円滑に推進され、募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民の福祉が向上する。																	
事業概要		社会福祉法にも位置づけられる「共同募金」について、大阪府共同募金会の定款第20条の規定に基づく本市を1地区とする活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民の福祉が向上する。				共同募金会の活動が円滑に推進される。				民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。									
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		指標説明		助成事業数		共同募金の総額(赤い羽根共同募金と地域歳末たすけあい募金の合計)		市内募金箱設置箇所数 (市所管施設、社会福祉法人、市内企業等の合計)											
				単位	件									単位	千円	単位	件		
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5					
			目標 (見込み)	13	13	13	13	19,383	19,383	19,383	19,383	49	49	49	49				
			実績	12				17,409				48							
		達成度		92%				90%				98%							
分析		助成事業について詳細を見直し統合した結果、目標を下回っているが、実質的に現状維持となっている。				新型コロナウイルス感染拡大の影響により、募金活動を実施する機会が減少し、目標値を下回る結果となった。				令和元年度に減少してから特に市内企業等では増やすことが難しく目標を下回る結果となっている。									

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.04
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	802	319		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	802	319		
	物件費計		—	6,073	6,118	6,118	100%
	歳出計		—	6,875	6,437		
歳入	国庫支出金		—	0	0	0	
	府支出金		—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	0	0	0	
	市債		—	0	0	0	
	その他		—	0	0	0	
	歳入計		—	0	0	0	
一般財源			—	6,875	6,118	6,118	

5. 総括的分析

総括的分析	補助金の交付により、本市における共同募金会の活動が円滑に行われる環境整備に寄与した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	健康福祉総務課運営事務												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	健康福祉総務課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	内部管理			特性		庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務		
事業期間	不明			年度	～							年度まで	
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット		～			
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		課職員										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に行う。												
事業概要	市議会対応、部の予算・決算処理、事務事業・公約施策等の取りまとめなど福祉施策全般の調整、社会福祉協議会の運営に関する委員委嘱・報酬支払い、寄付金・募金等の受付、福祉部及び福祉総務課の照会回答取りまとめ、庶務事務など。												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		単位			単位			単位					
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
		実績											
達成度													
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.88
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.33
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	33,553	26,966	22,968		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	509	796	642		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	34,062	27,762	23,610		
	物件費計		24,612	6,533	83,467	98,020	85%
	歳出計		58,674	34,295	107,077		
歳入	国庫支出金		35	76	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		5,111	4,994	68,226	79,014	
	歳入計		5,146	5,070	68,226	79,014	
一般財源			53,528	29,225	15,241	19,006	

5. 総括的分析

総括的分析	庁内外との連絡調整、運営・庶務事務について、適正に執行した。
-------	--------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して円滑に運営事務及び庶務事務を執行していく。